

岩手医科大学附属病院 御中

富士通株式会社

細菌検査結果データ表示に係る不具合について（お詫び・ご報告）

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、掲題の不具合につきまして、多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。
不具合の詳細等につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

記

1. 事象

平成 30 年 2 月 11 日稼働の新電子カルテシステム（以下「本システム」という）においては、貴院にて従前より利用されている他社製細菌検査システム（以下「細菌検査システム」という）と接続し、同システム上で入力された検査結果を本システム上で表示する機能を有しておりますが、今般、複数の細菌に関する感受性検査結果を表示する際に、当該検査結果に感受性検査が行われていない細菌が含まれている場合、電子カルテシステム上に表示される感受性検査が、正しく表示されない不具合（以下「本不具合」という）が発生してまいりました。正しく表示されないパターンは、以下の 2 パターンです。

<パターン 1>

細菌検査システムから感受性検査結果が送信されているにも関わらず、電子カルテシステムの検査結果画面において、結果が表示されない（空白となる）不具合。

<パターン 2>

細菌検査システムから送信された感受性検査結果が、電子カルテシステムの検査結果画面において、別な菌に対する結果としてずれて表示されてしまう不具合。

2. 本不具合の発生日

本不具合は、本システムの稼働当初より内在していたものであり、3 月 29 日に検査部様のご指摘により、弊社として認識いたしました。

なお、検査部様において、3 月 29 日の不具合発覚日から 5 月 24 日の修正プログラム適用までの間、細菌検査システム側で検査結果の順番を入れ替え、本不具合が顕在化しないよう、運用で対処いただきました。

3. 対応経緯

3 月 29 日 検査部様から電子カルテシステムの細菌検査結果表示がずれている旨の指摘

4 月上旬 検査部様にて該当データの件数を調査 ※感受性結果総数 25,857 件の内 991 件が該当

4 月 17 日 弊社にて原因の特定。障害に対する修正を開始

5 月 7 日～5 月 17 日 修正プログラムのテスト

5 月 18 日 医療安全管理部様と弊社で結果総数を再精査し、該当データ 991 件から 307 件に絞込み

5 月 21 日 医療安全管理部様のご要請により、修正前の画面ハードコピーを取得

5 月 24 日 修正プログラム適用し、検査部様にて細菌検査結果表示が正しいことの確認完了

4. 原因

本不具合の技術的な原因は、細菌検査システムから送信されるデータ形式が、本システムのインターフェース仕様に準拠せず、タグ情報が欠落していたためです。

さらに、弊社にて調査したところ、

- (1) 旧システムにおいても、細菌検査システムのデータ形式がインターフェース仕様に準拠していなかったにもかかわらず、旧システムでは、旧システム側のプログラムを修正し、細菌検査システムから送信されるデータにタグ情報が欠落していても、検査結果を正しく表示されていたこと、
 - (2) 旧システムで行った修正対応が旧システムのインターフェース仕様書に反映されず、本システムのインターフェース仕様書も旧システムのインターフェース仕様書の記述をそのまま引き継いでいたこと、
- が判明いたしました。

弊社は、貴院および細菌検査システムベンダー様に、本システムのインターフェース仕様は旧システムと同様とお伝えしておりましたが、旧システムの実態と仕様書の記述が異なっていたため、準拠すべき仕様の内容が不明瞭な状態であり、貴院およびベンダー様にて必要な対応を行うことが困難でした。

また、本システムの稼働前に、細菌検査システムとの連携テストは実施しておりましたが、貴院および弊社による検証・結果確認において、本不具合を発見することができませんでした。

以上を踏まえると、本不具合の発生については、弊社に責任があると考えております。

5. その他システムへの影響

弊社にて調査したところ、細菌検査システムと同様にタグ情報を用いて本システム上でデータを表示している部門システムとして検体検査システムが該当しましたが、本不具合と同様の事象は発生していないことを確認いたしました。

今後も、本システムの安定稼働に向け、全社を挙げて取り組んでまいります。

以上